

2-5. 山家地域

(1) 地域の特徴

山家地域は、本市の東部に位置し、全域が都市計画区域外となっていますが、無秩序な土地利用を防ぐため、地域の一部に準都市計画区域を指定しています。

土地利用の状況を見ると、森林と農地が大半を占めるとともに、良好な水資源を有しています。また、国道200号沿道に集落が形成されています。

交通体系を見ると、冷水有料道路、国道200号、主要地方道筑紫野太宰府線及び主要地方道筑紫野三輪線等の広域幹線道路網が形成されています。また、本市と筑豊地域を結ぶJR筑豊本線が通っています。

地域資源を見ると、長崎街道や宿場町の歴史的資源が残っています。

平成17年及び平成22年の国勢調査の人口および世帯数の推移を見ると、人口は減少しており、世帯数は横ばいとなっています。また、高齢化率は約3%増加しており、市全体の高齢化率より約6%高い値（市全体の平成22年の高齢化率は18.5%）となっています。

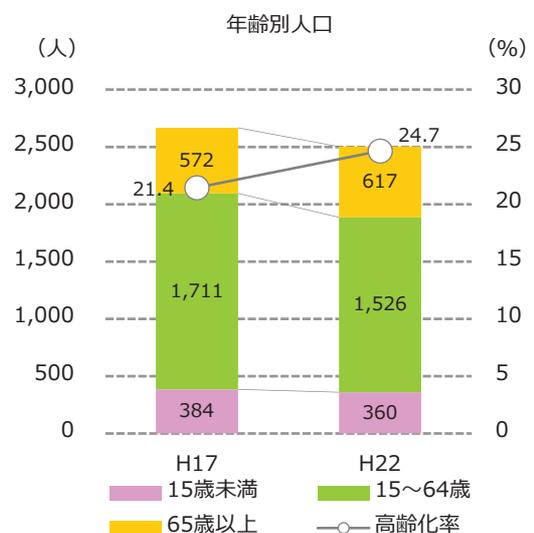
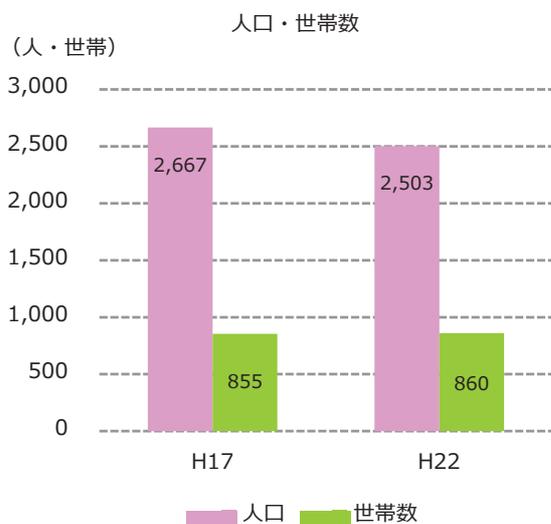
【参考】住民基本台帳に基づく平成27年9月末時点の本地域の高齢化率は30.5%



▲地域内の農地



▲山家宿



資料) 国勢調査

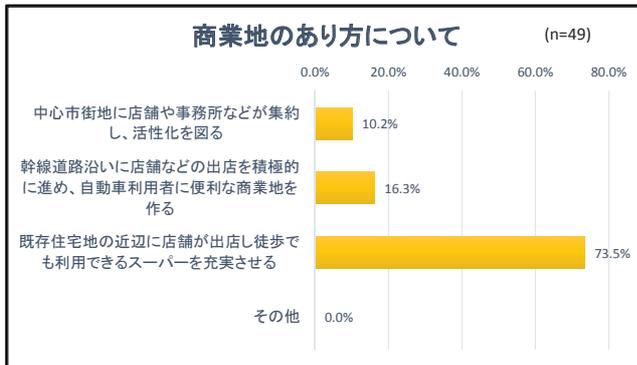
(2) 地域の課題

① 土地利用

- 主要地方道筑紫野太宰府線から筑紫野三輪線は、隣接する都市との連携・交流を担う道路であることから、沿道の有効利用が求められます。
- 地域内には、日常必需品の買物施設が不足しており、商業機能の充実が必要です。
- 地域内には働く場が少なく、雇用の場が求められます。
- 無秩序な開発等が懸念されるため、計画的な土地利用が求められます。
- 地域内に空き家や未利用地が点在しており、その対策が求められます。



▲ 地域内の狭い歩行空間



▲ 市民アンケート結果(山家地域回答)

② 交通体系

- 主要地方道筑紫野三輪線をはじめとする、筑前町へ連絡する道路は、一部幅員が狭いため、整備が求められます。
- 冷水有料道路と新たに整備された主要地方道筑紫野三輪線（平成 27 年 6 月開通）は、更なる交通利便性向上のため、道路の接続が求められます。
- 高齢者の買物や通院等をはじめとした日常生活の交通利便性の向上が求められます。
- 国道 200 号は、道路幅員が狭いところや歩道が無いところもあるため、安全な歩行空間が求められます。

③都市及び自然環境形成、景観形成

- ・ 旧宿場町の町並みや史跡、約 400 年前に創設された山家宿などの保全や地域資源としての活用が求められます。
- ・ 地域東部の山間部には良質な水資源が存在しており、生活用水として利用されています。また、地域内には蛍が生息しており、持続的な生息空間の確保が求められます。
- ・ 竹林の拡大やイノシシ等による農作物の被害、主要道路沿道や河川でのごみの不法投棄が懸念されます。
- ・ 地域内には工場、産業廃棄物処理施設等が他の地域に比べ多く存在します。
- ・ 九州自然歩道の適正な維持管理が求められます。



▲山家宿郡屋跡

④その他の都市施設整備

- ・ 上水道が未整備な地域が存在するため、安全で安心な水道水の供給が求められます。
- ・ 医療施設や福祉施設が少なく、高齢化対策が懸念されます。
- ・ 子どもの遊び場としての身近な公園の整備が求められます。

⑤安全・安心なまちづくり

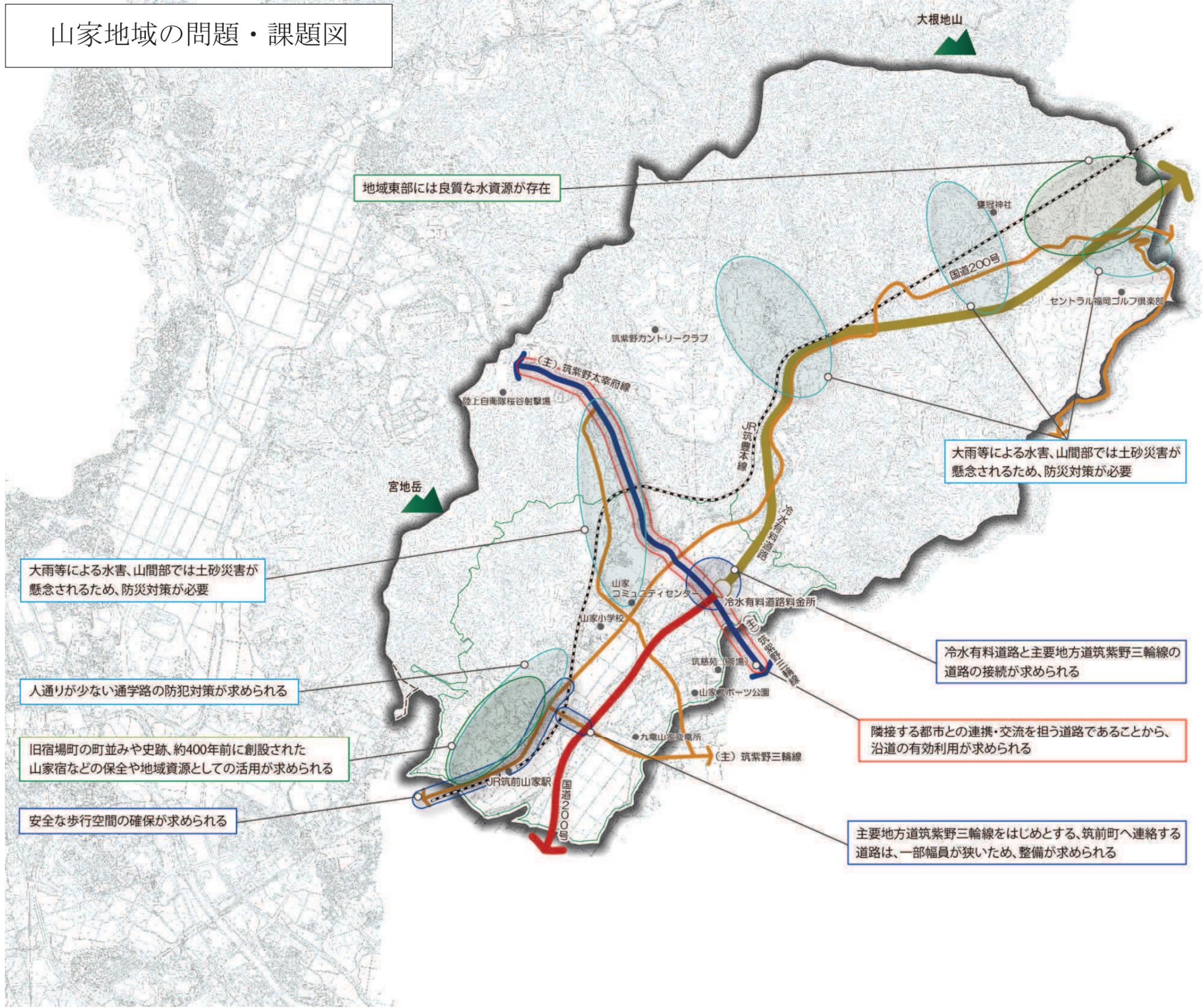
- ・ 大雨等による水害、山間部では土砂災害が懸念されるため、防災対策が必要です。
- ・ 旧宿場町西側の道が通学路になっており、人通りが少ないため、防犯対策が求められます。



山家地域の問題・課題図

凡例

○	土地利用に関する問題・課題
○	交通に関する問題・課題
○	環境・景観に関する問題・課題
○	都市施設に関する問題・課題
○	防災・福祉に関する問題・課題
⇄	高速道路
⇄	有料道路
⇄	主要幹線道路
⇄	主要幹線道路未整備区間
⇄	幹線道路
⇄	幹線道路未整備区間
⇄	補助幹線道路
⇄	補助幹線道路未整備区間
—+—	鉄道（JR）
—+—	鉄道（西鉄）
- - -	市街化区域界
- - -	都市計画区域界
- - -	準都市計画区域界
—	地域区分界



● (3) まちづくりのテーマ ●

地域の特性や現況、地域別懇談会の意見などを勘案し、山家地域のまちづくりのテーマを以下のように設定します。

まちづくりのテーマ

豊かな自然環境を守り、
山家宿の町並みを活かした交流のあるまちづくり

まちづくりの方向性

①豊かな自然環境のなかで安心して暮らせる地域

地域の大部分を占める森林等の自然環境が保全され、自然災害による被害がなく、安心して暮らせる地域を目指します。

②自然環境や山家宿などの地域資源を活かした交流が盛んな地域

地域内の集落が維持されるとともに、自然環境や長崎街道などの地域資源を活かした交流が盛んな魅力ある地域を目指します。

● (4) 地域のまちづくり方針 ●

①土地利用

- ・ 主要地方道筑紫野太宰府線から筑紫野三輪線沿線地区は、環境に配慮した道路沿道の有効利用を図ります。
- ・ 日常必需品の買物が出来る買物施設の誘導や移動販売等の導入を検討します。
- ・ 雇用創出に繋がる、商業・工業系優良企業の誘致を検討します。
- ・ 無秩序な開発などが懸念される遊休農地等は土地の有効利用を検討し、良好な住環境に配慮した、計画的な土地利用を推進します。
- ・ 地域内に点在する空き家や未利用地については、その対策を検討します。

②交通体系

- ・ 筑前町へ連絡する幅員が狭い道路については、安全な道路環境の整備を促進します。
- ・ 冷水有料道路と主要地方道筑紫野三輪線の円滑な道路接続を促進します。
- ・ 公共交通機関の利用を促進し、集落と病院や買物施設等を結ぶコミュニティバス等を含む新たな交通手段の必要性を検討します。
- ・ 国道 200 号については、歩行空間の確保や歩道の整備を促進します。

③都市及び自然環境形成、景観形成

- 旧宿場町等の魅力向上とともに、資源間の交通連携や歩行者動線（観光ルート）の整備、PRの強化などを進め、観光客の増加に繋がる取り組みを検討します。
- 植物や生物の生態系にも配慮した自然環境の保全を推進します。
- 地域内には工場、産業廃棄物処理施設等が立地していることや地域内の河川などでごみの不法投棄が懸念されることから、関係機関と連携しながら生活環境の保全に努めます。
- 九州自然歩道は散策が楽しめる安全な歩行空間の整備を検討します。

④その他の都市施設整備

- 安全な水道水を供給する上水道の整備を検討します。
- 診療所・福祉施設の配置や移動診療車等の導入を検討します。
- 地域内の公園配置を考慮しながら公園の整備を検討します。

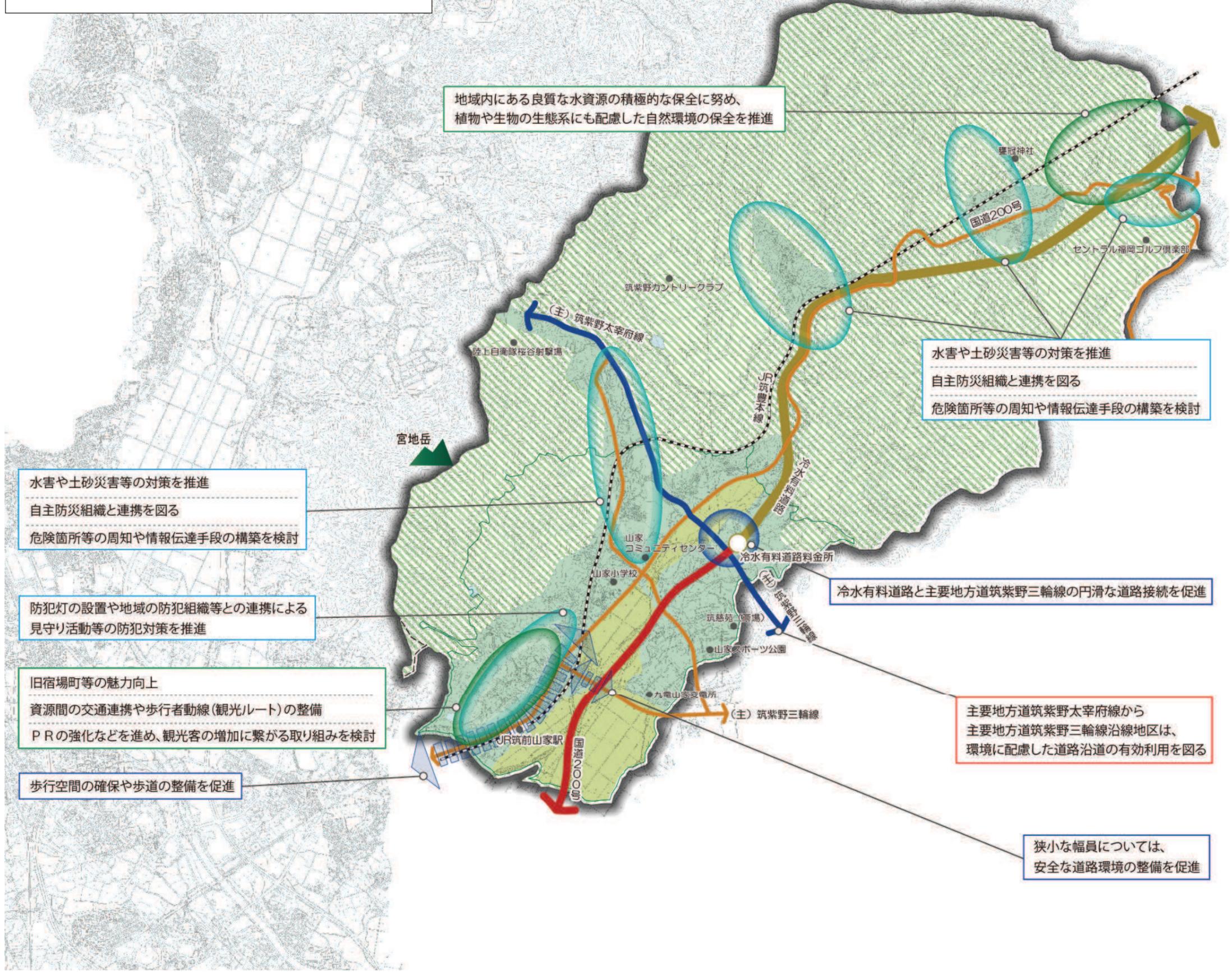
⑤安全・安心なまちづくり

- 水害や土砂災害等の対策を推進し、自主防災組織と連携を図り、危険箇所等の周知や情報伝達手段の構築を検討します。
- 防犯灯の設置や地域の防犯組織等との連携による見守り活動等の防犯対策を推進します。

山家地域のまちづくり方針図

凡例

	土地利用に関する方針
	交通に関する方針
	環境・景観に関する方針
	都市施設に関する方針
	防災・福祉に関する方針
	住宅地
	商業地
	沿道商業サービス地
	工業・業務地
	農村集落地
	農地
	緑地
	河川・池・沼等
	都市公園
	計画的な土地利用を推進する区域
	高速道路
	有料道路
	主要幹線道路
	主要幹線道路未整備区間
	幹線道路
	幹線道路未整備区間
	補助幹線道路
	補助幹線道路未整備区間
	鉄道（JR）
	鉄道（西鉄）
	市街化区域界
	都市計画区域界
	準都市計画区域界
	地域区分界



地域内にある良質な水資源の積極的な保全に努め、植物や生物の生態系にも配慮した自然環境の保全を推進

水害や土砂災害等の対策を推進
自主防災組織と連携を図る
危険箇所等の周知や情報伝達手段の構築を検討

水害や土砂災害等の対策を推進
自主防災組織と連携を図る
危険箇所等の周知や情報伝達手段の構築を検討

防犯灯の設置や地域の防犯組織等との連携による見守り活動等の防犯対策を推進

旧宿場町等の魅力向上
資源間の交通連携や歩行者動線（観光ルート）の整備
PRの強化などを進め、観光客の増加に繋がる取り組みを検討

歩行空間の確保や歩道の整備を促進

冷水有料道路と主要地方道筑紫野三輪線の円滑な道路接続を促進

主要地方道筑紫野太宰府線から主要地方道筑紫野三輪線沿線地区は、環境に配慮した道路沿道の有効利用を図る

狭小な幅員については、安全な道路環境の整備を促進

